

道徳科学習指導案

指導者 T1：大道 寿江

T2：行廣 弥生

- 1 学 年 第5学年1組 12名
- 2 日 時 令和5年1月27日（金）第5校時
- 3 主題名 「集団の一員として」（C よりよい学校生活，集団生活の充実）
- 4 本時のねらい

なりたい役になれずやる気が出なかったが，どの係も劇を支える大切な仕事であることに気付き，がんばろうとするえり子の気持ちの変容について考えることを通して，役割を自覚し，責任を果たす大切さに気付かせ，集団の一員として主体的に責任を果たそうとする態度を養う。

- 5 教材名 「森の絵」（日本文教出版）
- 6 主題設定の理由

（1）主題観

子どもたちは，家族や学校をはじめとするさまざまな集団や社会に属している。それらの集団の中で生活していく上で大切なことは，一人ひとりが尊重して生かされながら，主体的に関わっていくことである。そのためには，役割をもち，その責任を果たしていくことが必要になってくる。しかし，集団の中で活動する際に，人任せにしてしまったり，自らの役割の意義を見出せなかったりする児童も少なくない。また，自分のやりたいことを優先してしまうこともある。

自分の役割を果たす経験を重ねる中で，集団を支えている一人である自分に気付き，自分の役割と責任を自覚することで，集団への所属感をもつ。そして，個人の力を集結して大きな目標を達成することができる。また，一人ひとりが，自分に与えられた役割と責任を果たし，集団の中で役立つ喜びを感じることで，充実した集団生活を送ることができる。

（2）児童観

本学級の児童は，前向きで，よく気が付き主体的に行動することができる。5年生になって児童会活動で高学年として活動する機会が多くなっている。その中で責任をもって，自分の役割を進んで見付けていかなければならないことを経験してきている。しかし，中には，休憩時間の遊びや自分のことを優先して，自分の仕事を責任をもってやり遂げようとしない児童もいた。

本学級の児童を対象にした児童生徒等の意識調査（道徳アンケート）では，「みんなで協力し合って，よりよい学級や学校をつくろうとしている」という質問に対して，肯定的評価をした児童は75%（9名／12名）であった。「自分の行動に責任をもって行動した」という質問に対して肯定的評価をした児童は75%（9名／12名）であった（令和4年11月実施）。2つの項目について否定的評価をした児童と，hyper-QUで，学級での所属感に対して不安をもっているなど配慮を要する児童とが重なる面もある。本教材を通して，集団の一員としての自覚をもち，自分の役割を果たすことの大切さを実感することで，学級のみんなと協力して学校生活を充実させようとする意欲を高めたい。

（3）教材観・指導観

主人公のえり子は，本当はやりたかった女王役をめぐみに譲ってしまった。気分の乗らないえり子だったが，「だれかがやらなきゃ，げきにならないじゃないか。」という文男の言葉をきっかけに，

自らの役割の大切さに気付く、みんなのために自分の仕事をやり遂げようという気持ちに変わっていくという内容である。

えり子の心の変容を通して、集団を支えているのは私たち一人一人であるということに気付かせるとともに、集団の一員としての自覚をもち、みんなで協力してよりよいものをつくっていくことの大切さに気付かせることのできる教材である。

指導にあたっては、はじめに、「えり子は、最初、どのような気持ちで取り組みましたか。」と問い、最初の投げやりなえり子の表情を想像させる。えり子が、役割を自覚できずに投げやりに取り組んでいる時の気持ちを自分との関わりで考えさせる。次に、「えり子は、最後、どのような気持ちで取り組みましたか。」と問い、えり子が主体的に働こうとする姿に気付かせる。最初と最後のえり子の心の中を対比させ、役割は変わっていないが、えり子の心が変わったことに気付かせる。

その次に、「森の絵に色をつけるえり子の気持ちが大きく変わったのは、えり子がどんなことに気付いたからでしょう。」と問い、劇を成功させるために大切な考え方について、えり子の変容した思いや文男や恵の姿の背景にある思いから考えさせていく。一人一人しっかりと考えさせるため、道徳ノートに書かせて考えさせる。そして、一人一人が自分の役割を果たすことが集団の成功につながることに気付かせる。また、えり子もみんなと同じように道具係として頑張ろうと意欲をもったことを捉えさせる。ここでは、T2が児童の考えを分類・整理しながら板書を行い、えり子の思いを多面的に捉えさせる。

えり子が乗り越えたことについてや見習いたいところについて話し合わせ、「このことは自分たちの集団にも言えることか。」と問い、自分事として捉えさせ、教材を通して考えたことをもとに、『集団が今よりよくなるために大切な心』についてまとめる。

最後に、「今日の学習でどのようなことを学びましたか。」と問い、教材を通して考えたことをもとに自分自身をふり返って発表したり、自分の経験と照らし合わせながら友達の経験を聞いたりすることで、自分の生き方について考えさせたい。

7 カリキュラム・マネジメントの取組

- 2学期の取組として、道徳科「真由、班長になる」で、よりよい学校生活・集団生活とは何か、そこで自分は何をすべきかについて考えることを通して、集団が幸せに過ごせることを目指し集団での役割と心構えを学んだ。
- 宿泊体験では、集団の一員として友だちと協力して計画を立て、一人ひとりが役割をもって活動を行った。

8 本時の展開

(1) 準備物 場面絵・短冊

(2) 本時の学習展開

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点 (☆評価の観点)
導入 5分	① 本時で学習するテーマを捉える。	みんなはどんな集団に所属していますか。 ・ 5年1組 ・ 須波小学校 ・ 登校班 ・ 委員会 ・ ダンス ・ 水泳 考えよう 集団が今よりよくなるために大切な心について考えよう。	○「集団」に対する捉えを明らかにさせる。教材が示す「集団」は学級であることを示す。
	②教材「森の絵」を読んで考え、話し合う。	えり子は、最初、どのような気持ちで取り組みましたか。 ・ くやしい、力が入らない、投げやり ・ やっぱり女王役がやりたかったな。 ・ おもしろくない。適当でいいや。 ・ めぐみさんはうまいけど、譲らなかつたらよかった。 ・ 心の中では納得できていない。 えり子は、最後、どのような気持ちで取り組みましたか。 ・ いきいき、楽しい ・ 劇を成功させよう。 ・ みんなで成功させたい。	○T1とT2で役割ごとに読む。 ○登場人物のえり子・文男・めぐみの役割を確認しながら場面絵やキーワードを提示することで状況を掴ませる。 ○最初の投げやりなえり子の表情を想像させる。 ○役割を自覚できずに投げやりに取り組んでいる時の気持ちを自分との関わりで考えさせる。 ○えり子が主体的に働こうとする姿に気付かせる。 ○最初と最後のえり子の心の中を対比させ、その違いから役割は変わっていないが、えり子の心が変わったことに気付かせる。

展 開 25 分	③自分のことを振り返る。	えり子の気持ちが大きく変わったのは、えり子がどんなことに気付いたからでしょう。 【全体をみて】 ・みんなが同じ目標に向けて、協力して頑張る気持ちがよい。 ・クラスみんなが同じ目標に向かって努力することが責任を果たすことなんだ。 ・みんな自分の任された仕事を頑張っているから私も頑張ろう。 【友だちのこと】 ・苦手なことなのに、文男は文句も言わず頑張っている。 ・めぐみも自分の役のだけではなく、よい劇にするために努力している。 ・わき役でも、どんな役でも一人一人それぞれの役割があり、どれか一つが欠けたら劇は成功しない。 【自分自身のこと】 ・私も大切な一人。 ・仕事に大きいも小さいもない。 ・みんなでこの劇を成功させるために、私は道具係としてやるべきことはきちんとしよう。 集団が今よりよくなるために大切な心とはどんな心だろうか。 ・みんなが物事を行うには、それぞれが役割をもち、力を合わせる 것이大切。その役割には、よいも悪いもなく、すべて大切。 ・一人ひとりが主役であり、役割を自覚して力を合わせたら、自分たちらしい集団ができあがる。	○クラスの劇のために刺繍を一生懸命にしている文男の姿や、劇の成功のために懸命に自分の仕事をしているめぐみや修の姿からえり子の葛藤する心の中を考えさせる。 ○文男の言葉をきっかけに、集団を支えているのは自分たち自身であると気付いたときの気持ちを考えさせる。 ○えり子もみんなと同じように自分の役割を自覚し、責任を果たそうと気付いたときの思いを多面的に考えさせる。 ○T2が児童の考えを分類し、整理する。 ☆えり子が集団の一員として、自らの役割を果たそうと考えている思いに気付いたか。(発言・道徳ノート) ○えり子が乗り越えたことや見習いたいところを話し合わせる。 ○「どんな集団にも言えることか。」と問い、自分事として捉えて、どのような考え方が大切かまとめる。
--------------------------------	---------------------	---	--

終 末 15 分	④本時の学習から、これからの自分に生かしていきたいことを考える。	今日の学習でどのようなことを学びましたか。 ・仕事に責任をもって、みんなのために役割を果たす。 ・どんな仕事でも大切な仕事なんだ。 ・いろいろな役割があって、集団はできているんだ。 ・自分の役割を納得して努力する。 ・みんなで同じ目標に向かってがんばっていく。	○教材を通して考えたことをもとに、これまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせて自分自身を見つめ直させ、これから生き方について考えさせる。 ☆集団の一員として、役割の自覚と責任を果たすことの意義を理解することができたか。 (道徳ノート，発言)
----------------------------------	---	---	--

9 板書計画

森の絵

考えよう

集団が今よりよくなるために大切な心

道具係になって投げやりなえり子

えり子の表情

【全体をみて】

- ・みんなが同じ目標に向けて、協力して頑張る気持ちが良い。
- ・クラスみんなが同じ目標に向かって努力することが責任を果たすこと
- ・みんな自分の任された仕事を頑張っている

だれかがやらなきゃ、げきにならないじゃないか。

- ・女王がやりたかった。くやしい。
- ・めぐみの方が上手だから仕方ない。
- ・道具係ではやる気が出ない。

場面絵
(文男)

【友だちのこと】

- ・苦手なことなのに。
- ・めぐみもよい劇にするために努力している。
- ・どんな役でも一人一人それぞれの役割。れか一つが欠けたら劇は成功しない。

【自分自身のこと】

- ・私も大切な一人。
- ・仕事に大きい小さいもない。
- ・道具係としてやるべきことをする。

場面絵

すてきな森の絵をかこう。
げきを成功させなくちゃ。
みんなで成功させるのよ！

- ・仕事に責任をもって、みんなのために役割を果たす。
- ・どんな仕事でも大切な仕事。
- ・いろいろな役割があって、集団はできている。
- ・自分の役割を納得して努力する。
- ・みんなで同じ目標に向かってがんばる。